

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
1	4	小泉 誠	1. 防災について (1) 内水氾濫のハザードマップについて (2) スフィア基準について 2. 民間委託によるごみ処理方式の採用について (1) 民間委託の決定プロセスについて 3. PFOS及びPFOAについて (1) 深谷市岡の井戸でのPFOS・PFOA指針値超過について (2) 皿沼浄水場のPFOS・PFOAについて	ア 水防法で内水氾濫のマップ公表が義務付けられているが、本市のハザードマップには未掲載である。市民が冠水リスクを正しく把握するため、「内水ハザードマップ」の作成スケジュールと現在の進捗状況を伺う。 ア 政府は災害関連死を防ぐため国際基準「スフィア基準」に沿った避難所の質的向上を自治体に求めている。本市の地域防災計画や避難所運営マニュアルにおいて、居住面積や衛生環境などの目標値がどう反映されているか問う。 ア 可燃ごみの民間委託は大きな政策転換であるため、直営との比較検討段階から議会や市民への丁寧な説明と対話が必要だと考える。これまでの検討プロセスと、今後の市民対話に向けた見解を伺う。 ア 本年4月16日、市内岡の井戸から150ng/LのPFOS・PFOAが検出された件で、その後、県から原因特定調査や周辺井戸の追加調査等についてどのような報告を受けているか。現在の状況と市の今後の対応を伺う。 ア 皿沼浄水場の浄水検査では過去3回15～18ng/Lと基準値を大きく下回り、安定している。現在の低減対策（希釈・水源運用）と、市民が将来にわたり安心できる根本的な水質管理・対策の今後の見通しを伺う。 イ 昨年の8月・9月に目標値に近い濃度が検出された際、議会や市民への速やかな報告がなされなかった。下野市のように全庁的な危機管理体制を整え、情報公開と住民への説明を徹底すべきだったと考えるが、市の認識と今後の対応方針を伺う。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
2	3	柿澤 祐介	1. 防災について (1) 備蓄品について (2) 災害時の対応について (3) 防災設備の状況について 2. リチウムイオン電池について (1) リチウムイオン電池の安全回収について (2) ごみ処理施設における火災対策について	ア 災害備蓄品の備蓄品目及び大まかな数量はどのような状況であるか伺う。 イ 防災倉庫の設置場所は適切に配置されているのか伺う。 ア 深谷市として給水訓練や物資輸送などの訓練を実施しているのか伺う。 イ 避難所開設時の女性へのプライバシーの確保などの対応について伺う。 ア 全国各市町村が整備を進めているマンホール型の防災トイレや揚水ポンプ、応急給水槽など、深谷市内に於ける設置や取り組み状況について伺う。 ア リチウムイオン電池の回収と廃棄に関する現状について伺う。 イ リチウムイオン電池に起因すると考えられる火災について、本市における発生件数について伺う。 ア 施設内での分別体制について伺う。 イ 火災検知の体制について伺う。
3	15	清水 健一	1. 税公金について (1) 収納方法について 2. 持続可能な自治会活動について (1) 自治会の活動支援について 3. 公園の在り方について (1) 公園の概要について (2) 公園のニーズについて	ア 各収納方法の収納割合について聞きたい。 イ 令和3年度から口座振替の新規申込件数が増えたが過去5年間の手数料削減額について伺う。 ア 広報誌等の配布方法も検討するべきと考えるが見解を伺う。 イ 自治会運営に際して、法律や会計の相談にどの様に対応しているのか聞きたい。 ウ 自治会にもデジタル活用を推進して行くべきと思うが見解を伺う。 ア 何ヶ所の公園があり、都市公園の内訳を伺う。 ア 維持管理の問題解決、地域コミュニティ醸成の場となるよう今後の在り方について方向性を示すべきと思うが考えを聞きたい。 イ パークPFIを含めた管理運営も視野に入れていく考えがないのか伺う。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
4	21	加藤 利江	1. 上柴公民館について (1) 上柴公民館の案内板について 2. 民生委員・児童委員と保護司の活動について (1) 民生委員・児童委員と保護司の活動について	ア アリオの中に公民館があるのはとてもよい事だと思うがあまりにも道案内が少なく、とてもわかりづらいのでもう少し案内板を細かくつけてほしい。 イ 数日前に上柴公民館を借りて会議を行ったが案内板が少なく、わからなくて帰ってしまった方がいたのがとても申し訳なかった。早急に看板を増やしてほしい。 ア 市独自の手当支給制度の創設を。
5	12	山出 秀明	1. 災害援助について (1) 熊本地震の援助について 2. リサイクル奨励金について (1) リサイクル奨励金について 3. 深谷駅の北口について (1) 深谷駅北口の活性化について	ア 市としてふっかちゃんとかまモンのイラストを用いたポロシャツ等を作成し売り上げの一部を寄付したらどうか。 ア 新たに増量実績となった団体に対する加算制度が創設されたが、前年度実績を1%以上上回るという条件がある。これを見直す考えはないか伺う。 ア 深谷駅前交番付近に自動改札口を設置できないか。 イ 深谷駅前交番付近に飲食スペース、土産物等の物販および観光案内所を設置できないか。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
6	13	坂本 博	1. 深丘園について (1) 火葬炉について (2) 火葬について (3) 残骨灰について 2. 集中豪雨について (1) 市街地の内水氾濫について (2) アンダーパスについて (3) 今年の集中豪雨の被害について	ア 火葬炉は何炉あるのか。 イ 火葬炉の耐久年数は。 ウ 火葬炉の修繕はどのような計画で行っているか。また、その費用は。 ア 過去3ヶ年の火葬件数は。 ア 火葬後に火葬炉内に残った細かな骨や灰である「残骨灰」は、どのように処理されているか。 ア 市内の側溝について、どのくらいの水量を処理出来る設計になっているのか。また、これらの雨水については、最終的にどこに排出されるのか。 イ 側溝や集水ますの定期点検（破損、ゴミの蓄積）は行っているか。また、清掃は行っているか。 ウ 市道のアスファルトについて、水が地中に浸透しやすいものになっているか。 エ 個人が水害に対する事前準備をする際に、市の助成制度はあるか。 オ 内水ハザードマップを作成する予定はあるか。 ア 市が管理しているアンダーパスは何ヶ所あるか。 イ すべてのアンダーパスで、水没しないよう排水処理が出来るようになっているか。 ウ 水没した際に、通行止めの安全対策を講じられるようになっているか。 ア 千葉県、石川県、富山県、福井県で今年発生した集中豪雨による被害について、市としてどのような見解を持っているか。
7	14	繫 由香	1. 誰もが本を楽しめる読書環境の整備について (1) 読書バリアフリーの資料・機器の整備及び利用状況について (2) 読書に困難のある子どもへの読書環境の充実について (3) 「りんごの棚」の設置について	ア 深谷図書館における、子ども向けの大活字本、LLブック、布絵本、点字資料の所蔵状況及び、利用状況は。 ア 深谷図書館における、録音図書、マルチメディアDAISY等の資料及び再生機器についての利用条件、及び利用実績は。 ア 点字付き絵本やLLブックなど、バリアフリーに配慮した資料を集めて紹介する「りんごの棚」が県内でも導入されている。本市の図書館にも設置してはどうか。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
8	22	五間 くみ子	1. 「ガーデンシティふかやプラン〜3rdステージ〜」に基づく取組について (1) 市民協働による花と緑のまちづくりについて (2) 次世代への継承について 2. 「ふかや緑の王国運営計画シーズン3」について (1) 成果と今後について 3. 市内産の花苗を活用した、深谷ならではのまちづくりについて (1) 市内産の花苗の活用について (2) 今後のまちづくりについて	ア 市民ガーデニングボランティア、アダプト団体、深谷オープンガーデン花仲間の活動状況と、これまでの成果をどのように評価しているのか。 イ 担い手の確保や世代継承などの課題をどのように認識し、持続可能な市民協働へどのようにつなげていくのか。 ア 子どもや若い世代に花と緑を愛する心を育み、次世代の担い手につなげるため、どのように取り組んでいるのか。 ア 来場者やボランティア活動の状況を踏まえ、これまでの成果と課題をどのように評価しているのか。 イ 市民活動、環境学習、人材育成など、花と緑のまちづくりの拠点として、今後どのように生かしていくのか。 ア 市内産の花苗を地域資源としてどのように捉え、現在どのように活用しているのか。 イ 今後、その活用をさらに広げていく考えはあるのか。 ア ガーデンシティふかやで培った市民協働と、市内産の花苗という地域資源を生かし、多様な主体との連携による、深谷ならではの持続可能なまちづくりへ発展させる考えはあるのか。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
9	16	田口 英夫	1. 高齢者に対する施策について (1) 深谷市高齢者福祉計画について 2. 自治会活動について (1) 自治会館の補助事業について (2) 自治会との協働事業について	ア 現在の計画は、令和8年度までだが、これまでの各施策の目標値の達成度及びこの計画の総括について伺いたい。 イ 令和9年度からは、新たな計画として策定するのか伺いたい。 ウ 新たな計画の策定では、これまでの施策の内容の見直しなども必要と思うが、考えを伺いたい。 ア 新築や改修など様々な補助事業があるが、物価高騰の中で、現在の上限額では厳しい部分もある。補助金額の見直しはできないか伺いたい。 イ 他市と比較して、補助金額はどうか伺いたい。 ア 高齢者にとって一番身近な公共的な施設といえるのが自治会館だが、今回示された取り組み以外でも支援対象となるのか伺いたい。 イ 地域子どもたちや子育て中の人たちが、今回示された取り組み以外に自治会館を活用して行う取り組みも支援対象になるのか伺いたい。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
10	18	富田 勝	1. 緑化樹等の管理について (1) 市が管理する高木について (2) 管理方針について 2. 災害について (1) 千葉豪雨について (2) 大雨による道路冠水について (3) 深谷市地域防災計画の水害予防計画について (4) 防災庁について	ア 街路樹については前回の議会で質問があったが、他の施設の高木等の管理について伺う。 イ 過去5年で倒木などの事例が街路樹では10件あったようだが他の施設ではどのようなのか伺う。 ア 国土交通省では今年3月に、埼玉県では2021年に管理指針を策定したようだが、把握はしているのか、また深谷市の管理方法との違いについて伺う。 イ 県内自治体でも独自の管理方針を策定しているようだが現状について伺う。 ウ 深谷市では作成しないのか伺う。 ア 深谷市の認識、災害状況を教訓に今後の水害対策をどう考えるか伺う。 イ ハザードマップの想定区域外で冠水・浸水があったが、深谷市でも考えられる。対応について伺う。 ア 既存、建設中の原郷上野台線、そして県道深谷嵐山線それぞれのアンダーパスについて対策を伺う。 イ 過去に何ヶ所かの被害報告があったと思う。把握はしていると思うが、どのような対応をしたのか伺う。 ウ 側溝や排水路などの点検及び清掃について伺う。 エ 住宅等の建設や、田畑の土盛りなどにより、既存の住宅や道路が浸水や冠水することが考えられるが、対策について伺う。 オ 避難所に行きづらい状況の場合の対応について伺う。 ア ハザードマップの周知とあるが、今後、内水についても掲載して改正を行う考えがあるか伺う。 イ 市は水害時の水防活動に必要な水防資機材を整備し、その維持、管理に努めるものとする。とあるが現状について伺う。 ア 11月に発足するようだが深谷市の組織体制について伺う。

市政一般質問通告一覧表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
11	1	田島 秀興	1. 建設工事に係る入札契約制度と地域施工体制の維持について (1) 第三次・担い手3法を踏まえた制度評価の基本認識について (2) 発注構成及び価格競争の実態と検証について (3) 地域施工体制、担い手及び災害対応力への影響について	ア 第三次・担い手3法及び令和6年12月13日変更の品確法基本方針を、本市の発注計画と入札契約制度にどのように反映し、成果を何で評価しているのか伺う。 イ 施工時期を平準化しても、発注量・規模・受注機会が地域施工体制を維持できなければ、担い手・地域建設業・災害対応力の確保は達成できないと考えるが、市の認識を伺う。 ウ 令和6年度は落札率の単純平均89.9%に対し加重平均96.1%である。予定価格との差額だけを「無駄の削減」又は「市民利益」と評価できるのか伺う。 エ 高落札率、一者入札、予定価格と同額の落札、低落札率、不調・不落及び受注集中等は、それだけで不正の有無又は市民利益を示すものではなく、複数指標で客観的に検証すべきと考えるが、市の認識を伺う。 ア 事前の調査による回答では、年度・価格帯・工種・方式・格付・応札者数別に分析していないとのことである。3年連続で県内40市中低い方から2位の落札率をどう認識し、分析しなかった理由を伺う。 イ 予定価格5,000万円以上1億円未満の平均落札率は令和6年度84.8%、令和7年度81.8%である。この価格帯が低い要因と、今後の分析方針を伺う。 ウ 令和6年度と同価格帯15件は全て低入札価格調査制度の対象で、12件が調査基準価格を下回った。失格・辞退がない状況と制度の実効性をどう評価するのか伺う。 エ 令和5～7年度のB・C級土木一式工事について、最低制限価格同額の落札、同額抽選、延べ応札及び最低制限価格未満の入札の公式件数・割合と、市の評価を伺う。 オ 直近5年度の発注件数・予定価格合計・応札者数・不調不落を価格帯・格付別に示し、A級以上の低入札とB・C級の最低制限価格・抽選への集中との関係を伺う。 ア 低入札案件の平均工事成績は全体平均を下回っていない。一方、契約変更、工期、事故、労務費、雇用、担い手及び災害対応力への影響を分析してこなかった理由と、今後の検証指標を伺う。 イ 市内建設業者及び下請事業者の受注採算、労務費、下請代金、雇用、人材・機械、事業承継及び災害出動体制について、実態調査・意見聴取を行う考えを伺う。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
			(4) 入札契約制度の検証及び改善について	ア 入札結果を価格帯、工種、方式、格付、地域要件、応札者数等で横断分析し、価格競争、受注集中、履行結果等をまとめた年次検証レポートを議会報告・公表する考えを伺う。 イ A級以上とB・C級で価格競争の現れ方が異なる。低入札価格調査の実効性、最低制限価格を適用した場合の比較、同額抽選の集中を分けて検証・試算する考えを伺う。 ウ 品確法基本方針を踏まえ、恣意的な分割を避け、施工能力、競争性、効率性及び経費を総合的に検証し、小規模工事を含む適切な発注規模と受注機会を確保する考えを伺う。 エ 競争性・公正性・透明性・品質確保との均衡を図りながら、道路・河川等の維持管理に地域維持型契約方式を導入し、平時の業務と災害協定を連動させる考えを伺う。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
12	9	湯本 哲昭	1. 農業振興に関する取組みについて (1) アグリテック交流施設「アグリ：code 22深谷」の活動について	ア 2023年10月オープンから今までの活動実績から集積された、本市における農業者や企業からの課題や要望の状況について伺う。 イ 今までの登録会員の主な顔ぶれと商材等の内容について伺う。 ウ 市の農業関連部門との情報共有等、具体例について伺う。 エ 市内の関連団体等への情報受発信と連携強化の考え方について伺う。 オ 今後の展開について具体的な構想があれば聞きたい。
13	7	福島 秀樹	1. 防災対策について (1) 市民への防災に対する広報について (2) 各団体企業等の連携について (3) 防災訓練について (4) 避難所について (5) ハザードマップについて (6) 感震ブレーカーについて (7) 防災対策品補助について	ア テレビ・ラジオ等で災害レベルを視聴者に伝え、注意喚起することが、最近では稀にある。例えば、それを視聴していた市民からは何処の地域で災害が発生し、どのように行動していいのか不安になる声を聞く。現在市が行っている市民への広報活動について伺う。 イ 近隣行政においては、河川が氾濫したことを予測し、想定浸水位置を、電柱を利用した表示により、その地域の市民に対して目に見える注意喚起を行っている。市が行っている注意喚起等の対策を伺う。 ア 災害時には行政のみならず、各団体や民間企業と協働して災害対応する必要があると思うが、災害・防災・協定など、締結しているものがあるのか伺う。 ア 一昨年は深谷市総合防災訓練を行っていたが、昨年からは災害対策本部設置訓練・自治会を対象とした避難所立ち上げ訓練・シェイクアウト訓練に変更となった。変更した経緯について伺う。 ア 災害時避難所を開設するが、電気・ガス・水道等のインフラ対策について伺う。 ア 深谷市作成の素晴らしいハザードマップ(2022年4月保存版)があるが、どのような活用を想定しているのか伺う。 ア 総務省消防庁では、大規模地震時の通電火災を防ぐための極めて有効な対策として、令和7年3月に「感震ブレーカーの普及推進に関する計画の策定等について」を発出し、感震ブレーカー設置を呼び掛けていると思うが、深谷市の対応について伺う。 ア 家庭の防災対策品の補助についての考えを伺う。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
14	5	佐久間 奈々	1. 生活保護をあたりまえの権利に (1) 生活保護をあたりまえの権利に (2) 生活保護申請後保護決定までの間の支援について	ア 最後のセーフティーネットと言われる生活保護制度だが、日本では本来受けるべき人達が受けている指標数（捕捉率）が先進諸外国と比べ低い。その原因をどう考えているか。また、それを上げていくべきだと考えるが市の見解を伺う。 イ 生活保護への偏見を取り除き、制度を受けやすいように工夫している自治体もある。東京都国立市ではHPに「すべての人には生きる権利があり、命は尊重され守られるべきものです」「生活保護は生きるための権利です。生活保護に対する差別や、その他の差別は許しません」と明記している。また、生活保護のしおり等の掲載もある。深谷市のHPの記載内容も検討すべきと考えるがどうか。 ア 生活保護申請後、原則14日以内、最長30日に保護の可否が決定されるが、所持金等が無い場合にはその間どのような対応がされるのか伺う。 イ 保護費支給までの貸付もある社協との連携はどのようなか伺う。 ウ 生活保護の枠組みとは別に、自治体独自の予算による「即日現金貸付（つなぎ資金）」等を行っている自治体があるが深谷市でも行う考えは無いか伺う。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
15	6	鈴木 三男	1. 県道深谷寄居線第四寄居街道踏切の拡幅について (1) 踏切内を含む歩道の早急な整備を 2. 水道水について (1) 安心安全な水道水を 3. 国保税について (1) 子どもの国保税の無料化を実現し、高すぎる国保税引き下げを	ア 県道深谷寄居線とJR高崎線の交差する第四寄居街道踏切は、歩道が未整備でしかも道幅も狭く、歩行者のみなさんが線路内を歩いて渡る状況が長年続いているが、県道沿いの西側の住宅が撤去されてしばらくたっているが、歩道の整備も踏切内の歩道の整備も行われていない。何が問題で歩道の整備が進まないのか。 ア 有機フッ素化合物のPFOSとPFOAの水道水に含まれる国の水質基準50ng/L以下は安全なのか。子どもたちが飲んでも安全なのか。 イ アメリカや北欧の水質基準は、アメリカでは、4ng/L以下、北欧では、10ng/Lから20ng/L以下と聞くが、なぜ、日本の水質基準は緩い基準になっているのか。 ウ 深谷市は、市民の安全安心な命と暮らしを守るまちづくりを進めるとしているが、国の水質基準より下回る水質基準を決めて水道水を配給する考えはないのか。 ア 国保税の子どもの均等割軽減対象が、令和9年4月から18歳まで拡大される。子どもの均等割りを無料にして高すぎる国保税を引き下げるべきではないか。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
16	11	小林 真	1. 「ふるさとの景色」の「歴史」を広く重ねるには (1) 「深谷の桜、復活プロジェクト」の今後 2. 花園IC拠点整備プロジェクトの成果を市民と共有するには (1) アウトレットの現状 (2) プロジェクトの市民向けの発信 3. 学校支援、地域を人口減社会にフィットさせるには (1) 資源回収とPTAのあり方 (2) 自治会と同様の「役員」と「内圧」問題の克服	ア 8月31日までのガバメントクラウドファンディングは達成率3.9%で終了した。今後のプロジェクトの経費はどうするか。 イ 枯れた桜の伐採と新たな桜の植樹だけでなく、現存する桜の保護も重要との声もあるが市の考えはどうか。 ウ 対象となる場所に「公共の場に市民団体が植樹した桜」は含まれるか。 ア 2022年10月の開業から約4年が経過した。当初予定された第2期、3期の開業はいつ頃になるか。 イ オープン時の渋滞などが話題になったが、その後の周辺地域への影響はどうか。 ウ 市ホームページによると「令和5年度以降は毎年キャッシュフローがプラスとなる」とのことだが、実際はどうなっているか。 ア プロジェクトの現状、成果を市民に向けてどう発信しているか。 ア 資源回収で活動中に参加者がけがをした場合の補償は。また直近3年での実例はあるか。 イ 市全体の小中学校での保護者のPTAの加入率は。 ウ 市内、また周辺自治体の公立小中学校でのPTAのボランティア参加型、事業のアウトソーシング化への移行の実態は。 ア PTAと自治会の課題には共通点が多い。とくに「役員」制と、実際にはそうでないとしても参加を強制されるように感じる「内圧」の改善のため、市として取り組む可能性はないか。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
17	19	茂木 一郎	1. 校外活動の安全確保について (1) 学校における校外活動の安全確保の徹底に向けた計画や確認状況について 2. アグリテック集積事業について (1) アグリテックアワード受賞企業への出資について	ア 令和8年3月に発生した辺野古沖の転覆事故を受け、文部科学省から校外活動の安全確保の徹底を求める通知が出されたと聞いているが、深谷市の公立小中学校における校外学習の安全確保について、各学校はどのような状況か伺う。 ア アグリテックアワードで最優秀賞を受賞した企業には、賞金として市からの出資交渉権が与えられるが、これまでの出資の実績を伺う。 イ 出資をした企業の現状と市内での活動実績を伺う。

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
18	10	八須 由憲	1. 防災気象情報について (1) 防災気象情報の収集と伝達について 2. 深谷市民の日について (1) 成果と今後に向けて 3. 渋沢栄一・桃井可堂顕彰 (1) 桃井可堂（もものいかどう）顕彰について (2) 「桃井可堂郷土史料館」の活用について	ア 7月16日、深谷市に避難が必要とされるレベル4大雨危険警報と土砂災害危険警報が発表された。テレビのテロップや深谷市防災士ネットワークで知った。市からの防災行政無線の放送やメールでの知らせは無かった。翌日の大雨による群馬県南部に発令されたレベル4危険警報や避難情報が私の携帯電話の緊急通報に数回にわたり入ってきた。詳細な防災情報を知り得るために、本市でもエリアメールの活用はできないか。 イ 大雨による浸水や冠水、中小河川の氾濫、倒木などによって通行できない風水害等の住民からの情報提供と、災害・避難情報や問い合わせができる窓口の設置が必要であるとするが、市の見解を聞きたい。 ウ 令和8年5月29日より気象の警報などが大きく変わった。高齢者や外国人の方などがレベル1～5の防災気象情報を理解していると思われるか。 ア 7月3日（金）の初めて迎えた「深谷市民の日」は様々な記念事業が開催された。全体を通してどのような成果があったと思われるか。 イ 7月3日～5日、渋沢栄一関連施設（渋沢栄一記念館・旧渋沢邸「中の家」）の来館者数を聞きたい。 ウ 来年の7月3日は土曜日となる。計画している考えなどあれば聞きたい。 ア 渋沢栄一が敬愛し、ゆかりの深い儒学者で尊王攘夷の志士、桃井可堂を顕彰する石碑「可堂桃井先生碑」（深谷市北阿賀野）が建っている。今年4月、この石碑に刻まれている碑文の原本が地元の古民家から発見され、栄一翁自筆の撰文書が深谷市に寄贈された。これを契機に桃井可堂を知ってもらう企画展や市の広報誌などでの紹介はできないか。 ア 個人で運営しているが、史料館には江戸で30余年、教育に尽くし、幕末の世に新たな時代を目指した桃井可堂の書や木像、愛用した尺八や武具、中瀬の歴史的資料などが展示されている。小中学校のラーケーション制度などで可堂先生の生き方や地域の歴史的背景を知ることができる「桃井可堂郷土史料館」を活用できないか。（見学は予約が必要）

市 政 一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和8年 深谷市議会 第3回定例会

通告 番号	議席 番号	氏 名	質問事項	質問要旨
19	24	高田 博之	1. 道路交通法の改正について (1) 改正の目的は (2) 生活道路の定義が解りづらい (3) 周知について市の取組み 2. 新規就農者対策について (1) 現在の状況は (2) 実施している対策は (3) 今後実施しようとしている事業は 3. 小山川ウォーク&サイクルロードについて (1) 実施の経緯を聞きたい (2) 事業効果について (3) 今後について	ア 改正道路交通法施行令が9月1日から施行された。目的をもう一度確認したい。 ア 標識などは新たに設置しないということだが、どの様に識別したら良いのか。 ア 全市民に周知してほしいが市の取組みは。 ア 埼玉県や全国でも上位に取り上げられる市の農産物を生産する現場の農業経営体の数と新規就農者の人数の現状は。 ア 新規就農者対策としての市の取組みはどんな事業をしているのか。 ア 今後大胆な取り組みが必要だと思うがどの様な施策を考えているのか。 ア 利用していた土手を一般車輛通行止めとして進入禁止にしてしまった理由は。 イ 起点と終点はどこまでか。 ア 若干の草刈りなどの予算もかかるが、事業効果について市はどう考えるか。 ア 健康志向から利用人口の増加も考えられるが地元の深谷市としてはどんな展望を持っているか。